



彩の国さいたま

＜管内関係機関・認定農業者等向け情報誌＞

加須農林振興センターだより

発行 埼玉県加須農林振興センター 加須市不動岡 564-1

TEL : 0480-62-4771 FAX : 0480-62-1499

e-mail : g624771@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0907/>



埼玉県のマスコット
「コバトン」、「さいたまっち」

加須市のいちご生産者がW受賞！（JAほくさい北川辺いちご部、水野農園）

令和6年12月10日に開催された日本野菜ソムリエ協会主催の「クリスマスいちご選手権」において、加須市のJAほくさい北川辺いちご部の「べにたま」と水野農園の「完熟朝採りあまりん」が金賞を受賞しました。この選手権は、クリスマスの時期に美味しいいちごを決定する品評会で、2回目となる今年は全国各地の産地から63品のいちごが集まり、野菜ソムリエが食味を審査しました。

北川辺いちご部では、部員同士の情報交換により、食味・品質の高位平準化を行っており、今回出品した「べにたま」は、「豊かな甘みと清々しい酸味に続いて、ふくよかなうまみが広がる」などと評価されました。

水野農園では、肥料メーカーと相談しながら土壌改良をしており、今回出品した「完熟朝採りあまりん」は、「大粒で食べごたえがあり、先端はコンデンスミルクのような強い甘みがある」などと評価されました。

さらに、令和7年1月14日（火）には大野知事から埼玉農業大賞特別賞が授与されました。埼玉県のいちごの美味しさを全国に広く知らしめ、埼玉農業の振興や活性化に大きく貢献いただいたことが表彰の理由です。

県育成いちご品種「べにたま」「あまりん」は各メディアで注目されており、生産量も大幅に増えています。県内の量販店や直売所等で見かけた際には、ぜひ手に取ってご賞味ください！



大野知事（左）と北川辺いちご部の大谷寿男部長



大野知事（左）と水野農園の水野陽代表

行田市の地域活動団体「あぜ道守る会」が表彰されました

～多面的機能支払交付金の優良事例～

多面的機能支払交付金制度は、地域の農地や農業用施設を保全・管理する地域活動団体（以下、活動組織）に対して、国・県・市町村が支援する制度です。埼玉県多面的機能支援推進会議では毎年度、県内で特に優れた活動を行っている活動組織を「優良事例」として表彰しています。

加須農林振興センター管内では、今年度、『あぜ道守る会』（行田市藤間）の取組が優良事例に選ばれ、令和6年11月7日、鴻巣市文化センター「クレアこうのす」で開催された埼玉県多面的機能支援推進会議研修会（さいたま・加須・春日部地域）にて表彰状が授与されました。

『あぜ道守る会』では、農家よりも非農家が多く草刈りや清掃活動に参加しています。昔からの地域のつながりが強く、非農家も農地を守るという意識を持っていることから、地域が一体となって農地の環境保全に努めています。

今後は隣接地区を含めてさらに活動の範囲を広げ、より多くの方と連携しながら遊休農地のない農村地域の維持を目指していくそうです。



▲表彰式



▲農道の草刈り

【お問合せ】 農村整備部 整備支援・管理担当 TEL0480-62-4578

はせがわ農園の梨が「第3回全国梨選手権」で金賞・銀賞を受賞しました！

行田市の株式会社はせがわ農園の「はせがわ農園の糖度保証のなし・彩玉」と「はせがわ農園の糖度保証のなし・豊水」が、日本野菜ソムリエ協会主催の「第3回全国梨選手権」でそれぞれ金賞と銀賞をダブル受賞しました。はせがわ農園の受賞は、昨年の第2回梨選手権での「甘太」入賞に続いて2年連続となります。

全国各地の産地より計26品の梨が出品され、32名の野菜ソムリエ達の食味審査によって選ばれました。

はせがわ農園では、全個糖度測定を行い、基準を満たしたものだけを販売する徹底した商品管理を行っています。樹の上でじっくり完熟したとれたての梨を食べられるのも、直売を行っているはせがわ農園ならではの魅力です。

梨の販売時期は8月初旬から9月半ばまで、庭先での直売のほかオンラインショップでも販売しています。時期になりましたらおいしい梨をお楽しみください。



長谷川浩代表(左)が大野知事(右)に受賞を報告

【お問合せ】 農業支援部 技術普及担当 TEL0480-61-3911

ポイントを押さえたイネカメムシ対策を!!

効果的なイネカメムシ対策のため、以下のポイントを押さえて防除を行きましょう。

① 出穂始期と出穂 10 日後の 2 回防除は確実に！

出穂 0～17 日の間にイネカメムシの被害を受けた籾の多くは、不稔やくず米になることが知られています。出穂始期と出穂 10 日後に「カメムシ類」に登録があり、残効のある農薬を使用し、この期間の穂を守ることが収量確保に有効です。

② 周囲のほ場と出穂期が異なるほ場は要注意！

出穂期が周囲のほ場と異なる場合、被害が大きくなる傾向がありました。ほ場をきちんと観察し、出穂始期防除のタイミングを見極めましょう。

③ 移植時期が遅くなるほど手厚い防除を！

移植時期が遅くなるほど地域全体のイネカメムシの密度が上がり、被害を受けやすい傾向があります。麦あと栽培など移植時期が遅くなる場合は、防除回数を増やしましょう。

上記以外にも、地域単位での広域防除や潜伏場所となる畦畔雑草の防除、収穫後の刈り株・ひこばえの早期すき込みなど、総合的な対策によりイネカメムシの地域密度を低下させることが重要です。今後もホームページや栽培講習会を通して情報提供しますので参考にしてください。

【お問合せ】農業支援部 技術普及担当 TEL0480-61-3911



水稻の穂に寄生するイネカメムシ

水稻新品種「えみほころ」の調査結果について

今年度、高温登熟性に優れた水稻新品種「えみほころ」展示ほを管内 4 か所に設置し、現地適応性の評価を行いました。その結果は以下のとおりです。

坪刈収量は 4 地点の平均で 548kg/10a となり、最も収量の高かったほ場は 600kg/10a を超えていました。品質については JA ほくさい検査員による検査の結果、イネカメムシの被害が見られた 1 地点を除いて 1 等相当との評価をいただきました。

栽培に協力くださった生産者からは「倒伏せず作りやすい」「にじのきらめきの代替品種として導入したい」などの声をいただき好評でした。



展示ほ「えみほころ」の草姿

表 令和 6 年展示ほにおける「えみほころ」の生育・収量

No.	設置場所	施肥量 (窒素成分: kg/10a)	田植日	出穂期	収穫日	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g)	坪刈 収量 (kg/10a)
1	加須市・早期	9(一発)	5/2	7/25	9/2	93	20.9	390	20.9	612
2	加須市・早植	10(一発)	5/14	7/29	9/10	83	22.2	306	20.8	489
3	羽生市・早植	9(基+追)	5/14	7/28	9/10	86	21.6	451	21.6	559
4	行田市・大麦あと	10(基+追)	6/13	8/15	9/23	91	22.3	318	22.9	530

【お問合せ】農業支援部 技術普及担当 TEL0480-61-3911

「スマート農業技術活用促進法」の認定を受けませんか？

農業者等が、スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関わる計画「生産方式革新実施計画」を作成し、スマート農業技術活用促進法（※）による関東農政局長の認定を受けると、以下のメリット措置があります。



【農林水産省ホームページ】

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/houritsu/241001.html>

- 日本政策金融公庫から長期低利の融資を受けられます。
 - ・償還期限を25年以内とする等、大規模投資にも対応。
 - ・据置期間を5年以内とし、事業者の初期償還負担を軽減。
 - ・貸付金の使途に長期運転資金も設定。
- 設備投資の際、税制上の優遇等が受けられます。
 - ・機械等の取得等をした場合に、特別償却を適用。
 - ・特別償却により、導入当初の税負担を軽減。

詳しい情報は、農林水産省のHP（右の二次元コード）を御覧ください。

※「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律」の略称

【お問合せ】農業支援部 技術普及担当 TEL0480-61-3911

環境にやさしい農業に取り組んで「みどり認定」を受けてみませんか？

埼玉県では、化学肥料・農薬の使用低減など環境にやさしい農業（※）に取り組む農業者を支援するため、みどりの食料システム法に基づき県知事が認定する「みどり認定」を推進しています。認定対象の取組には、これまで「エコファーマー」として認定されていた取組などが含まれますが、多くの農業者の方々に環境と調和した農業に取り組んでいただきたいと考えています。

また、事業計画に基づき機械等の設備を導入した場合に、特別償却を活用することができ、導入当初の所得税負担が軽減されるなどのメリット措置もあります。

ご興味のある方は、県農産物安全課のホームページ（下の二次元コード）をご覧ください。

※環境にやさしい農業とは？

みどりの食料システム法に基づく「みどり認定」の対象となる取組

- ・土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減
- ・燃油使用低減等、温室効果ガスの排出削減
- ・バイオ炭の農地施用
- ・農業用プラスチックの排出削減 など



【県農産物安全課ホームページ】

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/documents/midori.html>



【お問合せ】管理部 地域支援担当 TEL0480-61-3404

水辺周辺活用事業「会の川地区」が完了しました

「会の川」は、羽生市から加須市街を流れる農業用排水路です。

埼玉県では、地域の皆様に広く親しまれるような水辺空間の整備を目的として、加須市及び近隣町内会等と連携し、平成21年度から水辺再生事業等により護岸等の整備を実施してきました。

令和3年度からは加須市内において「水辺周辺活用事業（農業用水）」により環境に配慮した護岸整備を行い、令和6年11月に事業が完了しました。

北埼玉地域においては、農業用排水路は非常に身近な存在であり、地域の景観形成や親水空間の形成など多くの人に癒しや安らぎをもたらしています。

これらの取組によって、安全で魅力的な水辺空間として、地域住民に長く利用される施設となることが期待されます。



▲ 整備前



▲ 整備後

【お問合せ】 農村整備部 県営事業担当 TEL0480-62-4582

全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を三市で巡回展示

「木製地球儀」は高さ 60cm、幅 50cm、重さ 14.7kg の大きな地球儀で、全国植樹祭のシンボルとして代々の開催都道府県に引き継がれています。第75回となる次の全国植樹祭は、埼玉県の秩父ミュージックパークで今年5月25日に開催されます。そこで、全国植樹祭を県民の皆様に広くPRすることを目的に県内の各市町村で木製地球儀を巡回展示しています。

当管内では、県内40番目の木製地球儀引渡し式を、12月4日に加須市において行いました。その後、12月9日に羽生市で、12月12日に行田市で引渡し式を行い、各市の市長に受け取っていただきました。引渡し式の後、木製地球儀は各市役所のロビーで展示され、多くの市民の皆様にご覧いただきました。



加須市の角田市長(右)へ



羽生市の河田市長(右)へ



行田市の行田市長(右)へ

【お問合せ】 管理部 TEL0480-62-477